

あり、欧州では取り組みが進む。学会では必要な調査研究を通じ、超党派の議論を促進したい。また、農業

# 目指す

国・朝や繊維産業を中心に低賃金別永住で働く外国人研修・技能実習生の人権や子どもの健康を守る体制の整備は急務。

「減少サービス提供に必要な情報をつかむため、外国人住民動きが基本台帳も作るべきだ」  
—外国人に職を奪われる人では、と心配する声がある。

力針を「日系労働者は比較的高

## 京阪神の都市を解説

### 「モダン都市の系譜」3学者が共著

地理学の視点で、京阪 深教授、大城直樹・神戸 る。

神大都市圏の成立過程 大准教授の三人。城下町をたどる「モダン都市の から戦前の盛り場、郊外、ワード。地図に刻み込まれた資本や権力の営みに社会と空間」=写真=が地図をもとに都市空間を詳しくする内俊雄・大阪市立大教と同時に、批判的な新し授、加藤政洋・立命館大い都市論を提起してい写真も参照しながら分析する。

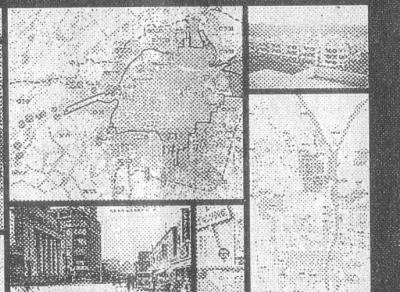
明治以降、姫路などの城下町が、城跡・武家地跡を官公庁や学校用地にいる。

ナカニシヤ出版

### モダン都市の系譜

地図から読み解く社会と空間

水内俊雄・加藤政洋・大城直樹著



Mapping the Modern City  
The Genealogy of Socio-Spatial Urban Configuration

賃金の自動車産業などで働くことが多く、地域の賃金で辛うじて支えられている業種もあり、精査が必要だ

い。一方、研修生の低賃金で、現場で外国人労働者の受け入れが始まる。

「現地の大卒者を日本に引っ張る仕組みで、アジア全体では人材の増加につながらないなど、改善点は多い。働き手の人生設計に役立つ制度を求める私たちは、9月に集会を開く」

—EPAに基づき、来年1月にも日本の医療・福祉現場で外国人労働者の受け入れが始まる。

「横溝正史の描く神戸のインナーシティ」のほか、墓地や花街、阪神間の邸宅街、神戸の新開地、阪神大水害被災地、大阪の新世界、

戦後については、バラ

ー

の時局的性格などを紹介

している。

# 安心できる制度設

くこと、この地域性などで辛うじて支えられている業種もあり、精査が必要だ

う。個別に実態を見るべきだ

—EPAに基づき、来年1月にも日本の医療・福祉現場で外国人労働者の受け入れが始まる。

「横溝正史の描く神戸のインナーシティ」のほか、墓地や花街、阪神間の邸宅街、神戸の新開地、阪神大水害被災地、大阪の新世界、

戦後については、バラ

ー

の時局的性格などを紹介

している。

「横溝正史の描く神戸のインナーシティ」のほか、墓地や花街、阪神間の邸宅街、神戸の新開地、阪神大水害被災地、大阪の新世界、

戦後については、バラ

ー

の時局的性格などを紹介

している